

尾張知多

●尾張支社 一宮市栄2-14
-29 アスティー宮北館
102号 0586(72)5003
FAX 0586(72)6823

●瀬戸支局 瀬戸市共栄通1
ツカモトビル
0561(21)5936

エコノミージャーナル

知多北部 企業ウォッチ

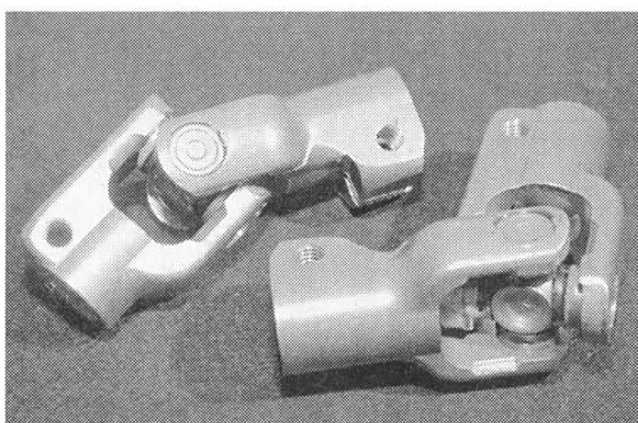
揺るぎないモノづくり 鬼頭光治氏が創業した。への姿勢が評価される企業頻繁に壊れてラインを止業が大府市内にある。小めてしまう一個のジョイ型ジョイントを製造・販売する専門メーカーの協和工業(鬼頭佑治社長)だ。近年、同社が国内で初めて開発した冷間鍛造の自動車用ステアリングジョイントが、トヨタの「カロラ」や「プリウス」に使用される。鬼頭氏が創業した。頻繁に壊れてラインを止めてしまう一個のジョイ型ジョイントを製造・販売する専門メーカーの協和工業(鬼頭佑治社長)だ。近年、同社が国内で初めて開発した冷間鍛造の自動車用ステアリングジョイントが、トヨタの「カロラ」や「プリウス」に使用される。

協和工業

同社は一九四二年、腕冷間鍛造技術に磨きをかききのゲーシ職人だった。けてきた。

ジョイントの可能性高める

(鬼頭佑治社長) 一般的に、材料の特性を生かす冷間鍛造品は精度や耐久性が高い反面、製造方法が難しくコスト高になってしまつ。なぜ「着く」と指摘する。冷間鍛造にこだわるのめには、考え方の転換が必要」と、鬼頭社長は話す。消耗品から部品へ



トヨタの「カロラ」と「プリウス」に使用される自動車用ステアリングジョイント

かつてジョイントの位置付けは高くなかったという。壊れても交換すれば済む「消耗品」としての扱い。消耗品であればユーザーの設計図をもとに安価に大量生産すればいい。安い消耗品がジョイントに対するイメージだった。しかし「ユーザーが求める真の使用目的を理解し、機械製品の性能を最大限に引き出すた

【メモ】本社＝大府市横根町坊主山一ノ三二▽電話＝0562・47・

1241▽売上高＝三十億円(今期見通し)▽従業員＝百五十一人

冷間鍛造で品質追求



冷間鍛造ジョイントの量産化を整えた生産ライン(滋賀県の長浜工場)

ジョイントの活躍の場を奪ってきた。「ジョイントは、単なる消耗品ではなく重要な機能部品」と鬼頭社長は力を込める。長年、蓄積してきた製造ノウハウや膨大な実験・実証データがジョイントの可能性を裏付ける。一貫した姿勢が評価される。現在では建設・産業用車両、農業機械用では国内シェア100%を占める。さらに自動車のパワーステアリングが従来油圧から電動方式に移行する動きに伴い、よりシビアさを増した保安基準を満たすため、精度や耐久性を兼ね備えた同社の冷間鍛造ジョイントに注目が集まるようになった。ステアリング動力の伝達方向を自在に変えられるため、自動車デザイナーの自由度も高まる。国内自動車メーカーの主力・看板車種に続々と同社のステアリングジョイントが採用され、韓国自動車メーカーも採用を検討しているという。同社の一貫したモノづくりへの真摯な姿勢が、かつては「過剰品質」と言われた冷間鍛造ジョイントを、「適正品質」に変えつつある。